



平成 28 年 12 月 22 日

各 位

会 社 名 カドカワ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 川上量生
(コード番号：9468 東証第一部)
問 合 せ 先 取 締 役 松原真樹
(TEL. 03-3549-6370)

当社連結子会社(株)KADOKAWA による新規プロジェクトに関するお知らせ（開示事項の変更）
及び固定資産の取得に関するお知らせ

当社及び当社連結子会社(株)KADOKAWA（東京都千代田区 代表取締役社長 松原 真樹、以下 KADOKAWA）は、平成 28 年 12 月 22 日開催の取締役会において、平成 27 年 8 月 6 日付けで公表いたしました「当社連結子会社(株)KADOKAWA による新規プロジェクト開始に関するお知らせ」の内容につきまして、下記のとおり変更するとともに、新規プロジェクトの開始について決議いたしました。また、これに伴う固定資産の取得について決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. プロジェクトの趣旨

KADOKAWA は、「コンテンツ産業のリーディングカンパニーを目指す」というビジョンのもと、業界に先駆けて様々な改革に取り組んできました。コンテンツ産業の市場環境は、1) 日本発のクールコンテンツへの期待増大とともに、市場のグローバル化が進んでおり、アニメ分野を中心に今後も国内外の需要拡大が見込める、2) デジタル化の昂進とともに、利用媒体（紙・デジタル）の多様化が大きく進んでおり、コンテンツ業界、メディア業界において更なる業態変革が求められている、3) 消費者サイドにおいても、リアルなコンテンツ体験（イベント参加、体験型ゲーム等）を求める潮流が形成され、さらに 2020 年東京オリンピックに向けて急増するインバウンド需要においても、従来のショッピング型から文化体験・地域周遊にシフトしつつある、4) 「観光立国」と「働き方改革」は我が国の経済成長の新たなエンジンとして捉えられており、コンテンツ業界も国全体の経済構造変革に対応していく必要があるなど、需要の拡大と共に、大きく変容しています。KADOKAWA は、将来的にも継続するこのような大きな市場の変化をビジネスチャンスの拡大と捉え、既に実行されている海外拠点の大幅拡充に加え、所沢市の旧所沢浄化センター跡地において、以下の通り、製造・物流設備並びに新事業推進に必要な新規設備投資を実施いたします。

- ① 老朽化した既存の書籍製造・物流設備（在、埼玉県入間郡三芳町）の一新も含め、最新鋭のデジタル設備を備えた書籍製造・物流工場を建設し、世界の潮流である“製販一体型ブックオンデマンド”を実現。メディアミックスの源泉となる書籍コンテンツを生み出す基盤を強化し、書籍事業の利益率を向上させるとともに、出版業界に資するデジタル製造・物流プラットフォームの構築により競争力を高め、北米市場で先行する書籍市場の復権を日本でも再現することを目指す。

- ② ワークスタイル改革の実現と世界に向けたコンテンツ開発拠点として、製販一体型の新製造物流設備に直結させて新オフィス「所沢キャンパス」を建設し、さらなる事業効率の向上を目指す。
- ③ KADOKAWA が新たに打ち上げるインバウンド事業の受け皿となる施設を建設する。一般財団法人角川文化振興財団が公益事業の一環として同じ敷地内に建設・運営する文化コンプレックス「角川ロックミュージアム（仮称）」と連携し、国内外の観光客に体験を通じてジャパニーズポップカルチャーの魅力を伝えるイベント、物販、飲食、宿泊サービスを提供する新規事業を展開するとともに、観光企画事業、観光情報事業を充実させ、新たな収益機会を創造する。

KADOKAWA は所沢市と緊密に連携し、上記施設において、クールジャパンの総本山と言える文化コンプレックスと街づくりの実現を目指す「COOL JAPAN FOREST 構想」を推進して参ります。

2. 前回リリースからの変更内容

平成 27 年 8 月 6 日付けリリースでは、KADOKAWA が製造・物流工場に特別に支出する金額は最大で 155 億円としておりましたが、事業内容を精査した結果、回収見込額が前回より増加したこと、及び共用部を含めた建築コストが明らかになったことに伴い、246 億円へと変更しております。また、外部の出資を中心に行う予定としていた文化棟については、一般財団法人角川文化振興財団が文化及び芸術の振興を目的とした公益施設として、図書館、美術館、博物館などが一体となった文化コンプレックス「角川ロックミュージアム（仮称）」を建設し、運営することとなりました。

3. プロジェクトの概要

(1) プロジェクトを行う法人及びプロジェクト開始のために特別に支出する金額（見込額）

名 称	プロジェクトを行う法人	プロジェクト開始のために特別に支出する金額
① 書籍製造・物流工場	KADOKAWA	246 億円
② 所沢キャンパス	KADOKAWA	64 億円
③ 新規事業施設	KADOKAWA	89 億円
合計		399 億円

投資資金に関しては、新たな資金調達は行わず自己資金を充当します。

(注 1) 外構、テラス、駐車場、電気設備等の共用施設にかかる費用は、各施設の支出額に含まれています。

(注 2) 建物建設用地は取得済み（取得価額：32 億 74 百万円）であり、既存建物の解体・撤去・造成工事（費用：12 億 40 百万円）は終了しています。

(2) プロジェクトの内容

① 書籍製造・物流工場

書籍を一部単位で高品質かつ低コストにオンデマンド印刷できる製造・物流一体の最新鋭デジタル設備を導入し、ユーザーの多様なニーズに応えるべく、書籍の受注から迅速な製造・発送までを一体で行う最適な生産プロセス、物流システムを構築いたします。また、書籍の小ロット製造や適時製造・適時配送を実現することで印刷費用、資材費用等の直接原価を削減し、返品率を改善することで利益率向上を図ります。加えて、同様の設備を備える海外拠点及びその協力会社との連携により、デジタ

ルと紙の多言語サイマル出版やメディアミックスの多国同時展開を推進してまいります。

②所沢キャンパス

場所を固定せずワーカー自らが最善の場所を選んで働ける環境を整え、多様な働き方とワークライフバランスを実現する「ワークスタイル改革」により、次世代の競争力を創出するものです。また、既存の飯田橋と所沢の2大キャンパスを保持することによりBCP(事業継続計画)対応を実現しつつ、広大な約3,000坪の1フロアに最新のオフィス機能を備えたクリエイティブな環境で、世界に向けたコンテンツ開発を推進していきます。なお、現在都内で賃借しているオフィスを一部返却することにより、オフィスコストの削減効果も見込んでおります。

③新規事業施設

国内外のポップカルチャーファンに対し、アニメやゲームに関するイベントや2.5次元舞台を提供するイベント会場、ポップカルチャーに関する企画展示を行う展示場、ポップカルチャーに特化した物販、大好きなコンテンツに囲まれて宿泊するホテルなどコンテンツと融合させたリアルなサービスを提供します。「君の名は。」の大ヒットにより脚光を浴びている聖地巡礼やアニメツーリズムは日本の新たな観光資源として成長するものと考えられ、そのようなマーケットの動向を見据えながら、一般財団法人角川文化振興財団が建設する「角川ロックミュージアム(仮称)」とも連携し、KADOKAWAが新たに起ち上げるインバウンド事業の拠点としてジャパニーズポップカルチャーの魅力を世界に訴求してまいります。

4. 固定資産取得の理由

プロジェクト推進のため、建物設備のほか、製造・印刷機器、ソフトウェアなどの固定資産を取得することを予定しております。

5. 取得資産の内容

① 名称	ところざわサクラタウン(仮)
② 所在地	埼玉県所沢市東所沢和田三丁目31番地の3及び11
③ 資産の概要	製造・物流施設、オフィス、商業施設 及びこれらに付随する製造機械設備、機器、ソフトウェア等
④ 建築面積	約25,000㎡
⑤ 延床面積	約84,000㎡
⑥ 取得価額	399億円(予定) (建物、設備、機器、ソフトウェアなどを含む)
⑦ 資金計画	自己資金により充当

6. 日程

① 取締役会決議日	平成28年12月22日
② 建物着工	平成30年2月(予定)
③ 竣工	平成32年4月(予定)
④ 事業開始	平成32年4月(予定)

7. 今後の見通し

事業開始は平成 32 年 4 月を予定しており、当期連結業績への影響はありません。今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

ところざわサクラタウン（仮）の CG 画像



以 上

(参考) 当期連結業績予想（平成 28 年 11 月 10 日公表分）及び前期連結実績

単位：百万円

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (平成 29 年 3 月期)	202,000	6,000	5,800	4,000
前期連結実績 (平成 28 年 3 月期)	200,945	9,124	10,189	6,845